

**授業概要**

リベラル・アーツの基本を平易な英語で学習することにより、より高いレベルの英語の運用力を身につけるために、英語の基礎力の強化をはかる。基本的な語彙や表現を理解して覚え、応用できるようにする。また、単に英語力を高めるだけではなく、英語を学びながら教養を深め、多様な分野に関心を持てるように指導する。

**授業計画**

|        |  |
|--------|--|
| 第 1 回  | 春期の履修内容の確認と復習                              |
| 第 2 回  | Unit 11: 英語で地理学（1）ポキャブラリーチェック・リーディング       |
| 第 3 回  | Unit 11: 英語で地理学（2）リスニング・オーラルプラクティス         |
| 第 4 回  | Unit 11: 英語で地理学（3）確認と復習                    |
| 第 5 回  | Unit 13: 英語で世界の問題を考える（1）ポキャブラリーチェック・リーディング |
| 第 6 回  | Unit 13: 英語で世界の問題を考える（2）リスニング・オーラルプラクティス   |
| 第 7 回  | Unit 13: 英語で世界の問題を考える（3）確認と復習              |
| 第 8 回  | これまでのまとめと復習                                |
| 第 9 回  | Unit 14: 英語で犯罪捜査（1）ポキャブラリーチェック・リーディング      |
| 第 10 回 | Unit 14: 英語で犯罪捜査（2）リスニング・オーラルプラクティス        |
| 第 11 回 | Unit 14: 英語で犯罪捜査（3）確認と復習                   |
| 第 12 回 | Unit 15: 英語で料理をしてみる（1）ポキャブラリーチェック・リーディング   |
| 第 13 回 | Unit 15: 英語で料理をしてみる（2）リスニング・オーラルプラクティス     |
| 第 14 回 | Unit 15: 英語で料理をしてみる（3）確認と復習                |
| 第 15 回 | これまでのまとめと復習                                |
| 第 16 回 | 筆記試験                                       |

学習内容、進度は担当教員によって若干異なることがある。

**到達目標**

リベラル・アーツの基本を学習することによって、英語の総合的な基礎力の再強化をはかる。

**履修上の注意**

語学力の養成には繰り返しが必要である。語彙、表現を何度もノートに書き、繰り返し発音すること（音声データは出版社のサイトからダウンロードできる）。授業には必ず英和辞典（電子辞書も可）を持参すること。遅刻は受講態度においてマイナスとなる。

**予習・復習**

知らない語彙、表現は必ず辞書で調べてくること。授業中にとったノートを繰り返し読み、復習すること。

**評価方法**

予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを受講態度として点数化し、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。担当教員によって多少の異同がある。

定期試験 70% 受講態度 30%

**テキスト**

- ・教科書名：『英語で学ぶリベラル・アーツ』
- ・著者名：上村 淳子・アイリーン岩崎
- ・出版社名：朝日出版社